

認知症は、隠さず見守る病気です

認知症の方は自分がおかしくなっていると感じ、病に悲しみ苦しんでいます。また介護している家族の中には、周りの目が気になり打ち明けられず、精神的に追い詰められている方もいます。社会全体が認知症を正しく理解し、認知症の方とその家族に共感できる環境づくりが必要です。

認知症の方や家族を見守るための「認知症サポーター養成講座」や認知症の方とその家族・地域の方が集う「^{なご}和みカフェ」をご紹介します。あなたも参加してみませんか。

認知症サポーター養成講座



上野幌東小学校の6年生も認知症サポーターになりました！

認知症サポーターとは、特別なことをする人ではなく、認知症について正しく理解し、認知症の方や家族を温かい目で見守る人のことです。地域・職場・学校などへ講師を派遣する出前講座も行っています。

日時 12月11日(木)、3月12日(木)
13時30分～15時
会場 わ・わ・わ あつべつ
所在地 厚別南2丁目10-4 ツルハ2階
申込方法 電話で **費用** 無料
申込先 厚別区第2地域包括支援センター ☎375-0610

認知症の方への対応

3つの「ない」を知ろう

1. 驚かせない

2. 急がせない

3. 自尊心を傷つけない

失敗を責めたり、怒ったりすることは、症状を悪化させてしまうことにもつながります。

^{なご}和みカフェ (認知症カフェ)



「認知症カフェ」には、認知症の方とその家族、介護に携わる方、地域住民、どなたでも参加でき、認知症や介護について、悩み相談や交流ができます。医療や福祉の専門スタッフも参加しています。

日時 1月14日(水)、3月11日(水) 13時30分～16時
会場 1月14日(水)は厚別区役所会議室A、
3月11日(水)は厚別区民センター会議室A
所在地 厚別中央1条5丁目
費用 200円(茶菓代として)
詳細 厚別区第2地域包括支援センター ☎375-0610

※事前申し込みは不要です。直接会場にお越しください。

厚別区には認知症に限らず、介護者が悩みを相談したり、情報交換ができるつどい「^{あつ}厚たまるう会」があります。詳細は厚別5ページをご覧ください。

認知症を支えるためにできること

温かいまなざしと優しい声掛けを

認知症の症状はいつも現れているわけではありません。その時々にかかる症状すべてに、家族や公的サービスだけで対応することはとても難しく、周囲や地域全体での理解や協力が必要となってきています。認知症は高齢になれば、誰もがなる可能性のある病気です。これからさらに高齢化を迎える社会では、地域に住んでいるみんなで優しく見守り、支え合うことが何よりも大切です。認知症になっても安心して暮らせるまちを、みんなで作っていきましょう。



一人で抱え込まないで、ご相談ください

厚別区第1地域包括支援センター

所在地 厚別町山本 750-6
担当地区 厚別西・北、厚別東、もみじ台
電話 896-5077

厚別区第2地域包括支援センター

所在地 厚別南5丁目 1-10
担当地区 厚別中央、青葉、厚別南、上野幌、大谷地西、大谷地東
電話 375-0610
業務時間 月～土曜日 9時～17時30分
(祝・休日、12/29～1/3を除く)

地域包括支援センターは、保健師などの専門スタッフが医療や介護などの機関と連携しながら、認知症の方への対応や介護方法、消費者被害など、高齢者の皆さまのさまざまなご相談をお受けしております。

認知症は早期に発見し、適切な治療と、適切な環境を整えることで進行を遅らせることができます。ぜひお気軽にご相談ください。



第2地域包括支援センター
^{あらかわ} 荒川 瑞枝 さん